

コンピーナー：今回の連絡会で、キーワードが4つ出てきたように思う。①「地域性」。身近な環境を考慮して気象の教育を行う。②「体験(実践)」。実際に見て、触れて知ることが重要。一方で、③「インターネット」。新しい知の道具で、世界を広げる。そして④「学習指導要領」。教育の基本。これらが明確になった、良い連絡

会であったと思う。

#### 参考文献

岐阜地方気象台地域気象教育プロジェクトチーム、2002：地域気象教育プロジェクト「e-気象台&“こんにちは予報官です”」の紹介、天気、49、303-308.

### ====支部だより====

## 北海道支部第20回夏季大学開講のお知らせ —気象講座「新しい気象」—

日時：7月29日(月)～30日(火) 10:00～15:00

場所：札幌市青少年科学館(1日目)  
(JR・地下鉄東西線「新札幌駅」下車)  
札幌管区気象台(2日目)  
(地下鉄東西線「西18丁目駅」下車)

参加費：1,000円

対象：一般(高校生以上)

講演内容：(講師及び題目は予定)

- (1) 北海道の気候—過去、現在、そして将来—  
川野 浩(札幌管区気象台気候調査課)
- (2) テレコネクション—日本の天候を左右するもの—  
渡部雅浩(北海道大学大学院地球環境科学研究科)
- (3) 大気とちり—氷晶核から黄砂まで—  
遠藤辰雄(北海道大学低温科学研究所)

(4) 無重力の世界—宇宙で氷を作る—

古川義純(北海道大学低温科学研究所)  
講演後札幌市青少年科学館(1日目)、札幌管区気象台(2日目)の施設見学を予定。

申込先：〒004-0051

札幌市厚別区厚別中央1条5丁目  
札幌市青少年科学館「新しい気象」係  
Tel: 011-892-5001

ホームページ：本講演会に関する最新情報は  
<http://www.ssc.slp.or.jp/>  
に掲載されています。

問い合わせ先：〒060-0002

札幌市中央区北2条西18丁目  
札幌管区気象台内  
日本気象学会北海道支部  
Tel: 011-611-6121 (内線415)